

平成24年11月吉日

関係各位

八千代市サッカー協会  
会長 若松 竜二  
(公印省略)

## 第22回コミュニティーワールドカップサッカー in 八千代の趣旨について

コミュニティーワールドカップサッカー in 八千代は、様々な国および地域の中学生がサッカーというスポーツを通じてこの八千代に集い、交流を重ねるなかで、技能の向上は勿論のこと、互いの違いを知り、その違いを認めていこうとする態度や、互いを支え合い高めようとする心の涵養の機会となるよう実施してまいりました。

昨年の21回大会においては、昨年3月11日に発生した東日本大震災において被災された地域から岩手県陸前高田町立第一中学校サッカー部、福島県いわき市選抜サッカーチームを招待して開催いたしましたところ、多くの皆様から心温まるご協力とご支援をいただくことができました。誠にありがとうございました。被災地から参加した選手の感想には以下のようなことが書かれておりました。

- ・サッカーを思い切り楽しむことができた。
- ・いい結果を残すことはできなかったけど、他のチームの技術を学ぶことができた。
- ・全国レベルのチームになりたい。
- ・足が速くなりたい。スピードと判断力を身につけたい。
- ・もっとうまくなった自分たちの姿を見て欲しい。
- ・招待していただきありがとうございました。

さすが、サッカー選手です。サッカーができる喜びを大切に、それを仲間と共有できたことに感謝するすばらしい内容でした。大会主催者として、ご協力を賜りました皆様に感謝申し上げるとともに、これからの復興に向け一步一步、前へ進む担い手として、活躍してくれる青年に成長してくれるものと確信することができました。

つきましては、今大会においても、別紙大会実施要項のとおり、北は北海道、南は沖縄、海外から大韓民国仁川市選抜に加えて、被災地から昨年と同じく岩手県陸前高田第一中学校サッカー部、福島県いわき市選抜サッカーチームを招待しての大会を計画いたしました。

大会を通して被災地の現状を知る機会とするとともに、復興へ向けてこれからの社会を担い、社会へ貢献していく姿勢を育む場としていきたいと考えております。

また、スポーツには様々なつながりを作り出す力があります。八千代市民の皆様におかれましても、故郷のチームの応援・支援を通じて「ふるさと」を共有する人と人とのつながりができ、新たなコミュニティーを築いていただけることと思います。

何卒、趣旨をご理解いただき、多くの市民の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。